

西予市議会だより

特集

西予の農業

授業のデジタル化

定例会 ②

インフルエンザの対策は 質 疑 ④

雇用対策は 常任委員会 ⑤

政権交代の影響は 一般質問 ⑧

レクバレーといけばな 宇和 市民の放課後 ⑫

14

第22号
9月
定例会
2009
2009.10.20発行



西予議会だより 第22号

<http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html> E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の子どもたち



園庭で遊ぶ(魚成保育所)

わが町の 取って置きの スポット



大崎燈台(明浜)

思い出のアルバム

宇和町



(新)



石城平野の近代化

昭和32年頃、石城の十一尺道路(県道伊予石城駅停車場線)と林立するわらぐろ風景です。現在では拡幅整備されています。

錦繻物の眼

歴史は動いたか

平成21年8月30日、歴史的な政権交代が現実となつた。その評価はそれぞれ異なる所である。半世紀を経た政権交代がもたらす功罪は。別所得補償等々、新政権の手腕が問われるところなのだ。民主主義の原則は多数決であつねが、一歩間違えば数の暴力となる。いわくの山野党の関係にそれが無かつたじせ細べおい。同じ轍を踏んではならない。

選舉で対決しても、政治・政策では協調あぐやは、協調あぐやではないか。眞の民意に応ふる国民目線の政治が実施されぬじむを望むものである。



どうなる!? 戸別所得補償制度

猛暑の夏も終り、過11月易い秋も半ばになりました。秋にはいろいろな表現が現れる所である。半世紀を経た政権交代が現実となつた。その評価はそれぞれ異なる所である。半世紀を経た政権交代がもたらす功罪は。別所得補償等々、新政権の手腕が問われるところなのだ。民主主義の原則は多数決であつねが、一歩間違えば数の暴力となる。いわくの山野党の関係にそれが無かつたじせ細べおい。同じ轍を踏んではならない。

この過11月易く、快適な好季を活用して、あちこちで観田会、各団体では運動会、実りの秋を祝う祭りも多く、「美酒、美食」に接する季節でもある。「天高く馬肥ゆる秋」の例の通り、健康には十分注意をして、快適な日々を過ごしたいものである。

(正)

編集後記

編集も終り、ホント一息!!

猛暑の夏も終り、過11月易い秋も半ばになりました。

「錦繻物の秋」「秋の夜長」「秋窗一刻値千金」等々…。

が現れる所である。半世紀を経た政権交代が現実となつた。その評価はそれぞれ異なる所である。半世紀を経た政権交代がもたらす功罪は。

◎委員長
○副委員長
委員
宇都宮明宏
松山小井上二兵頭明智
正昭勲朗竜勝学
編集委員会

政権交代でどう対応へ？

9月3日から15日間の会期で、定例会が開催されました。今回の主な議案は、条例制定1件、改正2件、廃止1件、予算関係では一般会計、特別会計、企業会計等12件の補正予算、平成20年度一般会計及び特別会計・公営企業会計の14会計の決算認定、平成20年度の一般会計継続費清算・健全化判断比率・資金不足比率の報告3件、第三セクターの平成20年度の経営状況報告10件、請願1件、陳情2件、の46件を審議いたしました。



パソコンを使った授業を受ける児童

スプリンクラー整備	総額 12億7千727万6千円補正
地域介護福祉	空間整備交付金
子育て応援特別手当	認知症高齢者グループホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
子育て支援	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
の経費	3千397万3千円
農作物干害対策	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
干ばつ対策	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
パソコン・電子黒板	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
中学校義務教育教材購入	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
小学校義務教育教材購入	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
農作物干害対策	ホーム7ヶ所が実施するスプリンクラー整備事業に係る補助金
の経費	439万9千円
農作物の干害対策として、揚水機・原動機の購入等に対応する補助金	439万9千円
パソコン・電子黒板	439万9千円
中学校施設耐震化	439万9千円
小学校施設耐震化	439万9千円
学年情報通信技術環境整備事業として、電子黒板とパソコンを整備する経費	439万9千円
耐震補強	439万9千円



スプリンクラー設置予定のグループホーム竹の園

第3回定例会

請願 陳情 補正予算 決算認定 条例改正 予算反映



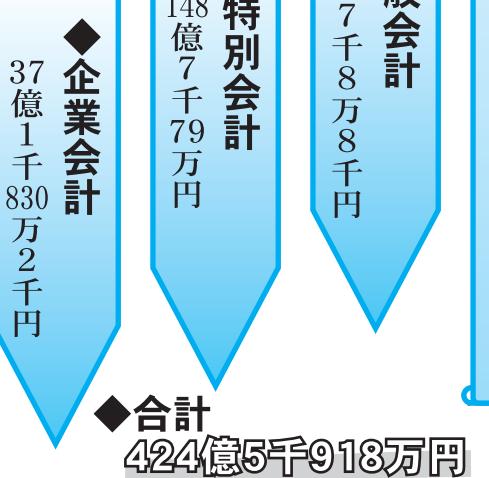
早期の災害復旧を…

監査委員 平成20年度決算を総括!!

- 普通会計における経常収支比率が90.2%と高比率で推移している。このことは既に財政構造の硬直化を示しており、行政内容の変化に伴う弾力性の確保が必要である。
- 国民健康保険特別会計(診療施設)においては、地域の実情を踏まえ改善されていると思うが、今後とも一層の経営改善について検討されたい。
- 例年発生している、収入未済額いわゆる滞納金等の問題であるが、一般会計182,180千円と特別会計231,563千円で合計413,743千円が生じている。公平性の観点から、悪質滞納者に対する法的処置を講じるなど関係職員は未収金対策と収納率向上に一層積極的に取り組まれたい。



20年度決算額



平成20年度における決算の認定

各常任委員会で所管事項の決算審査にあたり、各担当部長より主要施策及び成果について総括意見を求め、計数の正確性、否また遺漏がないなど詳細に亘り審査を行いました。

予算の執行状況の適性、否また遺漏がないなど詳細に亘り審査を行いました。

各常任委員会で所管事項の決算審査にあたり、各担当部長より主要施策及び成果について総括意見を求め、計数の正確性、否また遺漏がないなど詳細に亘り審査を行いました。



二宮 一朗議員

Q 農地法改正の効果は

営農再生に支援A

に対する支援を行います。

農業経営形態を思考することが可能であり、積極的に支援を進め、農業再生起爆剤になる行政から構想し、骨太の青写真を描き示すことが、今後の意欲につながると思うが、将来の方向性についての考えは

問 今回の農地法改正は「農地を効率的に利用すること」に重点を移し、新たな農業者の参入に道を開いたものになつてある。西予市の基幹産業でもある農業再生の起爆剤になる行政から農家への支援策は

部長 農地を有効的に利用するため、農地利用集積円滑化団体を整備し、まとまる形で担い手に配分することにより効率的な農作業が可能となり、生産性の向上が図られます。

また、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金により、荒れた農地を再開する農家

が付金により、再生し営農を

ます。

また、耕作放棄地再生利

用緊急対策交

付金により、再生し営農を

第一回（農業） 西予市地場産業レポート



鳥獣害対策も限界

野菜は価格的に最も不安定な品目であり、安定した経営が難しいのが課題です。その上高齢化は今後さらに悪化することが見込まれ、野菜農家の維持が難しくなつてくることが予測されます。

また鳥獣害対策は個人での対策には限界が来ており、このままでは生産意欲すらなくしそうで、早急に対応が求められます。

都市に集中する日本 食料自給率

JA東宇和の野菜・米・果樹の生産面積(ha)

	宇和	野村	城川	合計
きゅうり	1.7	26.8	0.5	29.0
ピーマン		1.8	0.6	2.4
ナス	0.4	1.2	0.1	1.7
かぼちゃ	1.0	27.0	2.0	30.0
トマト			4.0	4.0
ミニトマト			3.0	3.0
葉たばこ		55.0		55.0
米	907.0	349.0	254.0	1,510.0
柚子	7.0	13.0	45.0	65.0
栗	24.0	146.0	230.0	400.0
キウイフルーツ		1.0	1.0	2.0

城川町の現状と課題

◇ 参考価格

◇ 作付面積

参考価格表(変動あり) kg当り

	単価(円)
柚子	200
栗	400
キウイフルーツ	300

農業の課題・対策 未来について



□ 耕作放棄地対策に秘 策はありますか

基本的には、担い手をはじめとする地域内でのリーダー育成を図り、集落営農体制の推進等、また、後継者不足が深刻であり、高齢化と併せて検討する必要があります。

トマト・ミニトマトについて、作付面積、生産者と共に減少しています。

また、後継者不足が深刻であり、高齢化と併せて検討する必要があります。

JAひがしうわの農業振興計画に沿って頑張りたい。

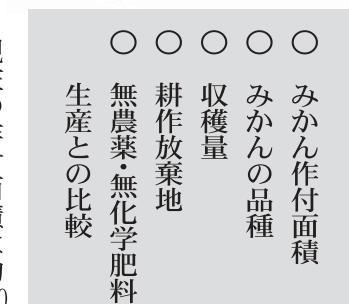
□ 民主党が掲げる戸別 直接保障どう思うか

内容的に十分理解でき
ない部分が多くあります

□ 農業再生に今、何が必 要だとと思われますか

現在、JAひがしうわ
で策定中の農業振興計画
に沿って頑張りたい。

過疎高齢化する地方 50%は可能か



普通温州・宮内いよかんボンカンなどで全体では35品種を作っています。総生産高は約7千トンを生産しており、現状として30haが耕作放棄地となっています。

特別栽培(無農薬・無化

学肥料)では、安心安全を求める消費者のニーズに

答えることが出来、防除

回数の削減になります。

しかし、逆に手抜き管理

になり、加工品が増え、隔

年結果が多くなる

るという課題があります。

手取り単価は、一般荷受

けと同等か1.2割高く販売で

きます。

課題は高齢化する中での生産

維持を今後どう

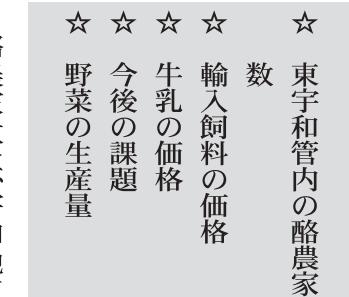
するかです。

飼農家数は、宇和地区が3戸・野村地区71戸・城川地区6戸となっています。また、肉牛肥育農家は76戸で母牛55頭の経営を行っています。

飼料は平成18年10月より高騰し始め、21年1月期より値下げはあつたものの、高騰前と比べ配

合飼料はt当たり9千900円、乾燥牧草でt当たり5千円の高止まりとなっています。

野村町の現状と課題



牛乳の価格については、平成21年3月分より価格

は年間平均kg当たり9円

30銭の値上げがあり生産

をしているが、消費が減

退する中、今後の乳価は

不安定です。

酪農家においては、6割

以上が後継者がそろつて

おり酪農情勢(価格・飼料・

四国乳業)次第では事業

の拡大も当然検討の余地

があります。牛肉・豚肉の

枝肉相場も昨年より大幅

下落が続き再生産価格が

望まれる現状です。



いたるところで目に付く耕作放棄地

西予市が抱える農業の課題と展望